



PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: **2001261131 A**(43) Date of publication of application: **26.09.01**

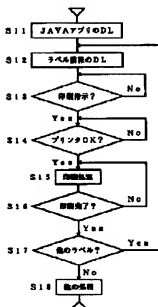
(51) Int. Cl.

**B65G 1/137
G06F 17/60**(21) Application number: **2000081118**(71) Applicant: **FUJITSU LTD**(22) Date of filing: **23.03.00**(72) Inventor: **KOJIMA TOSHIYASU****(54) MANAGEMENT SYSTEM FOR PHYSICAL
DISTRIBUTION INFORMATION****(57) Abstract**

PROBLEM TO BE SOLVED: To lighten a burden on a supplier such as a maker or a wholesaler, and to keep quality of a price tag, a PD label or the like attached to a commodity uniform even in the case that the supplier attaches the label or the like.

SOLUTION: In this management system, a server in a physical distribution information management center is accessed from a supplier terminal via the Internet, a Java application or a Java applet is downloaded (step S11), and necessary label information is downloaded (step S12). When it is decided that a label printer is normal (step S14), a printing process is executed (step S15).

COPYRIGHT: (C)2001,JPO



(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2001-261131

(P2001-261131A)

(43) 公開日 平成13年9月26日 (2001.9.26)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	チーコード [*] (参考)
B 6 5 G 1/137	Z E C	B 6 5 G 1/137	Z E C A 3 F 0 2 2
G 0 6 F 17/60	1 1 6	G 0 6 F 17/60	1 1 6 5 B 0 4 9

審査請求 未請求 請求項の数 4 O L (全 10 頁)

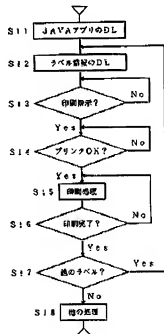
(21) 出願番号	特願2000-81118(P2000-81118)	(71) 出願人	000005223 富士通株式会社 神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番 1号
(22) 出願日	平成12年3月23日 (2000.3.23)	(72) 発明者	児島 利泰 広島県広島市中区紙屋町8番18号 株式会社 富士通中国システムズ内
		(74) 代理人	100094145 弁理士 小野 由己男 (外2名)
		Fターム(参考)	3F022 4M08 4M42 5B049 4A01 4A02 6B11 6B31 6C01 6C05 6C27 6D01 6D09 6F02 6F09 6G02 6G04 6G07 6G08

(54) 【発明の名称】 物流情報管理システム

(57) 【要約】

【課題】 商品に付される値札やP Dラベルなどをメーカーや卸業者などの発注先で付ける場合であっても発注先における負担を軽減し、これらラベルの品質を均質に維持することを可能とする。

【解決手段】 発注先端末において物流情報管理センタにあるサーバにインターネットを介してアクセスして、J A V AアプリケーションまたはJ A V Aアプレットをダウンロードし(ステップS 1 1)、必要なラベル情報をダウンロードし(ステップS 1 2)、ラベルプリンタが正常であると判断した場合(ステップS 1 4)、印刷処理を実行する(ステップS 1 5)。



【特許請求の範囲】

【請求項1】商品の発注を行う際の発注情報および前記商品の納入時に必要なラベル情報を発注元から受け付ける発注情報受付手段と、前記発注情報およびラベル情報を管理する発注情報管理手段と、前記発注情報およびラベル情報を対応する発注先に送信する発注情報送信手段と、を備える物流情報管理システム。

【請求項2】前記発注情報送信手段は、前記発注先のローカルプリンタに前記ラベル情報に基づくラベル印刷を実行させるラベル印刷機能を備える。請求項1に記載の物流情報管理システム。

【請求項3】前記ラベル印刷機能は、インターネットウェブからダウンロード可能なラベル発行アプリケーションである。請求項2に記載の物流情報管理システム。

【請求項4】前記ラベル印刷機能は、インターネットウェブから実行可能なJAVAアプレットである。請求項2に記載の物流情報管理システム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、小売業者などから商品発注を行う際の発注情報および納品時に必要となるラベル情報を管理し、メーカーや卸業者などの出荷側が納品する際に必要となる情報を送信する物流情報管理システムに関する。

【0002】

【従来の技術】量販店、百貨店、その他の小売業者では、商品の納入時にその商品に値札を付けた状態で納入することを、メーカーや卸業者に要求する場合がある。また、メーカーや卸業者が納品を行う際には、搬送する商品の中身を識別するためのPDラベルや荷札などをケースに貼り付ける必要があり、このようなラベルの作成も納入側で行っている。

【0003】

【発明の課題】商品に付ける値札やゲ

ラベルが無駄になってい

【0004】また、商品の値札やPDラベルことが考えられる。ご注文元から値札やPDラベルプリンタなどによりアルによりラベル情報などで印刷することもように値札やPDラベルを発行するためのシの導入費用とハードくる。また、この場合多めに作成して在庫する費用、保管費用大きくなる。

【0005】値札やアウトが異なる必要がある。また、変更したり、

20 必要がある。このする費用が発注先プリンタやラベルの負担となっていく

【0006】商品のメーカーや卸業者が必要があり、するために説明

た。発注先が値にラベルの品質、荷札関連では、場合に荷主は荷社側で荷札発行を開発したり

【0007】そのためシステム、費用がかかっ

に、

対応する発注先に送信する発注情報送信手段とを備える。

【0009】ここで、発注情報送信手段は、発注先のローカルプリンタにラベル情報に基づくラベル印刷を実行させるラベル印刷機能を備える構成とすることができる。ラベル印刷機能は、インターネットウェブからダウンロード可能なラベル発行アプリケーションとすることができ、インターネットウェブから実行可能なJ A V A アプレットとすることも可能である。

【0010】

【発明の実施の形態】
【物流情報管理システムの概念】
各種物流情報を管理するシステムの概念を図1により説明する。物流情報管理センタ1は、各種物流情報を統括的管理するものであり、各種マスタ情報と発注・請求に関連するトランザクション系のデータからなるデータベース、ラベル発行システム、請求情報処理システムなどを備えている。

【0011】物流情報管理センタ1は、公衆回線や専用回線を通じて加盟各社と接続可能となっている。特に、商品の発注情報や商品の配達時に必要となるラベルに関するラベル情報、請求情報などの送受信を発注元2および発注先3との間で行えるようになっている。また、運送会社4との間でも各種情報の送受信が可能となっている。

【0012】発注元2は、たとえば、量販店、百貨店、専門店、ロードサイドショップなどの小売業者である。発注元2から物流情報管理センタ1に対しては、商品の配達時に必要となるラベル情報、各種マスタ情報、商品の発注情報、POS情報、支払情報などである。また、物流情報管理センタ1から発注元2に送信される情報としては、発注先3から送信されてくる出荷検品情報、請求情報、在庫情報、新製品情報などがある。

【0013】発注先3は、各商品のメーカーや卸業者などである。物流情報管理センタ1から発注先3に対しては、ラベル発行システムを通じてラベル情報を送信しラベル発行を行う他、発注元2から送信されてくる発注情報、POS情報、支払情報、運送会社4から送信されてくる貨物追跡情報などが送信される。発注先3から物流情報管理センタ1に対しては、送り状情報、出荷検品情報、請求情報、新製品情報などが送信される。

【0014】物流情報管理センタ1は運送会社4に対して、発注先3から送信されてきた送り状情報、発注元2から送信されてきた支払情報などが送信される。また、運送会社4から物流情報管理センタ1に対しては、貨物追跡情報、請求情報などが送信される。発注元2から発注先3に対して商品の発注を行う際には、物流情報管理センタ1に発注情報を送信して登録する。鍵札やP D ラベルを発注先3に付けさせる場合には、各便ラベル情報やそのラベルのマスタ情報を発注情報とともに物流情報管理センタ1に送信して登録する。

【0015】発注元2から物流情報管理センタ1にPOS情報が定期的に送信されるような場合には、このPOS情報に基づいて物流情報管理センタ1で発注情報を作成することも可能である。物流情報管理センタ1で作成された発注情報に伴うラベル情報が必要な場合には、予め発注元2から各商品についてのラベル情報を登録しておくか、発注元2からPOS情報を送信する際にラベル情報を一緒に送信するか、物流情報管理センタ1から発注元2に対して問い合わせを行って、発注元2にラベル情報の送信を行わせるなどの方法が考えられる。

【0016】物流情報管理センタ1では、発注情報で指定されている発注先3にその発注情報を送信し、ラベル情報が存在する場合にはラベル発行システムを用いてラベルの発行を行う。発注元2から物流情報管理センタ1に送信されてきたPOS情報をそのまま発注先3に送信して、発注先3側で商品供給を計画する場合も考えられる。この場合にも、ラベル情報が必要である場合には、物流情報管理センタ1から発注先3に対してラベル情報を送信してラベルの発行を行う。

【0017】発注先3では、ラベル情報を利用しラベルを印刷すること以外に、手動入力による鍵札やP D ラベル発行を行い、ラベル情報を新規に作成することができる。発注元2および発注先3では、輸送に伴う荷札ラベルを手動入力あるいは荷札情報より発行することができる。物流情報管理センタ1ではこの荷札情報より送り状情報を作成することができる。

【0018】発注情報やPOS情報に基づいて発注先3から商品の発注を行う際には、物流情報管理センタ1は発注先3からの送り状情報、出荷検品情報を受信し、送り状情報を運送会社4に送信するとともに、出荷した商品についての出荷検品情報を発注元2に送信する。発注先3から貨物追跡情報の要求があった場合には、運送会社4から貨物追跡情報を受信し、これを発注先3に送信する。

【0019】また、運送会社4からの運賃に関する請求情報を受信し、発注元2または発注先3のいずれかの請求先に対して送信する。通常は、発注先3に運賃に関する請求情報を送信し、発注先3側において運賃に関する請求情報と商品に関する請求情報とを併せて請求情報を作成する場合が多いと考えられる。物流情報管理センタ1では、発注先3から送信される請求情報を発注元2に送信する。

【0020】さらに、物流情報管理センタ1では、発注元2からの商品についての支払情報を受信し、この支払情報を発注先3に送信する。発注元2から送信されてくる支払情報のうち、運賃に関する支払情報については運送会社4に送信するように構成できる。また、物流情報管理センタ1では、発注先3側における商品の在庫情報や新製品情報などを受信し、発注元2に対してこれら情報を提供するよう構成できる。

【0021】配達される商品は、発注元2からの発注情報やPOS情報に基づいて発注先3から発送され、運送会社4のトラックなどで発注元2の店舗に直接配達されるか、あるいは発注元2で所有している配達センター5に配達される。

【概略構成】物流情報管理システムの概略構成を図2に示す。

【0022】物流情報管理システム1には、発注情報やラベル情報を管理するデータベースを備えるサーバ1が設けられている。サーバ1は、発注元2から送信されてくる発注情報、ラベル情報、マスタ情報などに基いてラベルを発行するラベル発行システムと、請求情報、支払情報などに基いて請求情報を処理するための請求情報処理システムとを備えている。

【0023】サーバ1は、ルータ12を介して公衆回線と接続可能となっており、インターネットなどを通じて発注元2、発注先3、運送会社4などの端末とデータの送受信ができるように構成されている。また、物流情報管理システム1にはサーバ11のメンテナンス作業を実行したり、各種データの入力を行うための端末13を備えている。

【0024】発注元2には、モデム、TA、ルータなどを介して公衆回線に接続可能な発注元端末21を備えている。この発注元端末21は、通常のパーソナルコンピュータ、ワークステーションなどで構成されており、サーバ11に対してインターネット接続することが可能なウェブブラウザを備えている。また、この発注元端末21でPOS情報を管理し、このPOS情報をサーバ11に定期的に送信するように構成することもできる。

【0025】発注先3には、モデム、TA、ルータなどを介して公衆回線に接続可能な発注先端末31を備えている。この発注先端末31も、発注元端末21と同様にパーソナルコンピュータ、ワークステーションなどで構成することができ、サーバ11に対してインターネット接続することが可能なウェブブラウザを備えている。発注先端末31は、RS-232Cなどによりラベルプリンタ32が接続されている。このラベルプリンタ32は、サーバ11から送信されてくるラベル情報に基づいて、領札、PDラベル、荷札などラベルに印字を行うものである。

【0026】運送会社4は、モデム、TA、ルータなどを介して公衆回線に接続可能な発注先端末41を備えている。この発注先端末41も、発注元端末21と同様にパーソナルコンピュータ、ワークステーションなどで構成することができ、サーバ11に対してインターネット接続することが可能なウェブブラウザを備えている。

【サーバ基本動作】サーバ11の基本動作を図3のフローチャートに基づいて説明する。

【0027】ステップS1では、発注元2からの発注情報を受けたか否かを判断する。発注元2の発注元端末2

1からのアクセスがあり、発注情報が発送されてきた場合にはステップS2に移行する。ステップS2では、送信されてきた発注情報に基づいて発注情報ファイルを更新する。ステップS3では、発注元2からのラベル情報を受け付けたか否かを判断する。発注元2の発注情報に伴って商品の発送時に必要となるラベル情報が送信されてきた場合には、ステップS4に移行する。ステップS4では、送信されてきたラベル情報にしたがってラベル情報ファイルを更新する。

【0028】ラベル情報ファイルは、マスタ系ファイルとトランザクション系ファイルから構成される。マスタ系ファイルは、利用者マスタ、小売マスタ、小売店マスタ、小売センターマスタ、小売取引先コードマスタ、商品分類マスタ、商品マスタ、カラマスタ、サイズマスタ、運送会社マスタなどからなる。また、トランザクション系ファイルは、領札ファイル、PDラベルファイル、荷札ファイル、送り状ファイルなどからなる。

【0029】利用者マスタは、図4に示すように、利用者コード欄、利用者名欄、住所欄、電話番号欄、担当者欄、取引開始日欄、パスワード欄などを備えている。小売マスタは、図5に示すように、小売コード欄、名称欄、使用領札欄、使用PDラベル欄、小売固有コード欄などを備える。小売店マスタは、図6に示すように、小売コード欄、店コード欄、店名欄、部門欄、ディビジョン欄、グループコード欄、センターコード欄、ブロックコード欄、小売店固有コード欄などを備える。小売センターマスタは、図7に示すように、小売コード欄、センターコード欄、センター名欄、センター固有コード欄などを備える。小売取引先コードマスタは、図8に示すように、小売コード欄、利用者コード欄、取引先コード欄、取引先名欄、取引先固有情報欄などを備えている。商品分類マスタは、図9に示すように、小売コード欄、部門コード欄、ディビジョン欄、商品コード欄などを備えている。商品マスタは、図10に示すように、小売コード欄、商品コード欄、JANコード欄、取引先品番欄、カラー欄、カラー名欄、サイズ欄、サイズ名欄、下代欄、上代欄などを備えている。カラマスタは、図11に示すように、小売コード欄、カラーコード欄、カラー名欄などを備えている。サイズマスタは、図12に示すように、小売コード欄、サイズコード欄、サイズ名欄などを備えている。運送会社マスタは、図13に示すように、運送会社コード欄、名称欄、使用荷札種類欄、使用送り状種類欄などを備えている。

【0030】領札ファイルは、図14に示すように、利用番コード欄、小売コード欄、取引先コード欄、部門欄、クラス欄、発注コード欄、表示先欄、取引先品番欄、メーカー欄、シリーズ欄、納入年月欄、カラー欄、カラー名欄、サイズ欄、サイズ名欄、枚数欄などを備えている。PDラベルファイルは、図15に示すように、利用番コード欄、小売コード欄、小売店コード欄、納入先

種、部門種、ディビジョン種、グループ種、商品分類種、取引先種、発行日種、領口種などを備えている。前記ファイルは、図16に示すように、利用者コード種、荷受け先種、荷送り先種、メーカ種、店コード種、運送便種、振便種、元／着種、出荷日種、配達日種、両合番号種、個数種、備考種、処理日種などを備えている。送り状ファイルは、図17に示すように、利用者コード種、荷受け先種、荷送り先種、両合番号種、元／着種、発注日種、配達日種、個数種、枚数種、重査種、備考種などを備えている。

【0031】ステップS5では、発注情報ファイルの情報に基づいて発注依頼を行うか否かを判別する。発注情報ファイル中のデータに発注先3への発注が完了していないものが含まれているような場合にはステップS6に移行する。ステップS6では、発注情報に基づいて発注先3への発注依頼を行う。ステップS7では、発注先3へのラベル発行を行うか否かを判別する。発注先3への発注情報に伴うラベル情報がある場合を発注先3からラベル発行の要求があった場合には、ステップS8に移行する。ステップS8では、発注先3に対するラベル発行処理を実行する。ステップS9では他の処理を実行する。

【0032】ラベル発行

(J A V Aアプリケーション) ラベル発行は、ウェブのJ A V Aアプリケーションにより実行することが可能である。J A V Aアプリケーションは、物流情報管理センターのサーバ11内またはアプリケーションのダウンロード用サイトなどに用意されており、発注先3から指示によりダウンロードすることが可能となっている。発注先331においてラベル発行のためのJ A V Aアプリケーションをダウンロードした後、サーバ11が管理するラベル情報をダウンロードして、ラベルプリンタ32にセットされたラベルに印刷を実行させる。

【0033】ラベル発行のためのJ A V Aアプリケーションを用いて、発注先3においてラベルを作成する際の発注先31の動作を図18のフローチャートを用いて説明する。まず、ステップS11において、インターネット・ウェブ・ブラウザによりインターネット接続し、サーバ11のウェブサイトにアクセスしてJ A V Aアプリケーションをダウンロードする。

【0034】ステップS12では、ダウンロードしたJ A V Aアプリケーションを起動し、ラベル情報をダウンロードする。ここでは、前記ファイル、P Dラベルファイル、前記ファイルのファイルから必要なラベル情報を選択してダウンロードし、必要であれば発注先31の画面上にレイアウトを表示する。さらに、ラベルプリンタ32にセットすべき用紙種類と必要な枚数を表示し、ラベルプリンタ32への用紙のセットを促す。

【0035】ステップS13では印刷指示がなされたか否かを判別する。発注先31の画面上において印刷

指示ボタンが操作されるか、印刷指示のコマンドが入力された場合には、ステップS14に移行する。ステップS14では、ラベルプリンタ32が使用可能であるか否かを判別する。ラベルプリンタ32が使用不能の場合としては、電源オフの状態である場合、他のジョブにより使用中である場合、シyamや用紙切れなどの場合が考えられる。このようなラベルプリンタ32が使用不能である場合には、発注先31の画面上にその旨の表示を行い、印刷指示が再度入力されるのを待機する。ラベルプリンタ32が使用可能である場合には、ステップS15に移行する。

【0036】ステップS15では、ダウンロードしたラベル情報に基づいて、ラベルプリンタ32にラベル印刷を実行させる。ステップS16では、必要とする枚数のラベル印刷が完了した否かを判別する。そのラベルの印刷が完了していないと判断した場合にはステップS15に移行してさらにラベル印刷を実行し、必要な枚数のラベル印刷が完了したと判断した場合には、ステップS17に移行する。

【0037】ステップS17では、他の種類のラベル印刷を行うか否かを判別する。他の種類のラベル印刷が必要である場合には、ステップS12に移行して以下のステップを繰り返す。ステップS18では他の処理を実行する。

(J A V Aアプレット) ウェブサイトのページにラベル印刷用のJ A V Aアプレットを埋め込んでおき、発注先31からこのJ A V Aアプレットが操作されると、ラベルプリンタ32によるラベル印刷を実行させるように構成することができ、現状のJ A V Aアプレットでは、RS-232C制御ができないため、RS-232Cで接続されたローカルプリンタを制御することができない。このため、プリンタ制御用のドライバソフトをJ A V Aアプレットに組み込むことで、ラベル印刷が可能となる。たとえば、J A V Aアプレットのプログラム記述中に、「CALL ドライバソフト」パラメータ領域」のコメントを挿入する。パラメータ領域には、ラベル印刷データを構築してセットし、ドライバソフトをCALLするように構成すれば、J A V Aアプレットからラベルプリンタ32を制御することが可能となる。

【0038】ドライバソフトは、各種ラベルプリンタに対応させて用意しておき、発注先31で接続されているラベルプリンタ32に最適なドライバソフトを選択できるように構成できる。J A V Aアプレットを用いてラベル印刷を行う場合の発注先31における動作は、図18のステップS11でJ A V AアプリケーションをダウンロードすることによってJ A V Aアプレットをダウンロードすること以外は、J A V Aアプリケーションを用いた場合と見かけ上は同じである。

【0039】J A V Aアプレットは、発注先31のウェブ・ブラウザ画面上で指示される内容にしたがっ

て、サーバ11にラベル情報を要求し、ラベル情報をサーバ11側から受け取った後、ドライバソフトに制御を移行する。ドライバソフトは、J A V A アプレットからのラベル情報に基づいて、ラベルプリンタ32を制御し、ラベル印刷を実行する。このラベル印刷の動作を、図19に示すようなドライバソフトを中心としたフローチャートを用いて説明する。

【0040】J A V A アプレットは、種別、P D ラベル、種別などのラベル情報をサーバ11から受け取ってこれを所定の領域にセットし、ドライバソフトに制御を移行する。ステップS21では、ラベルプリンタ32に対してステータス情報を要求することによってローカルデバイスの状態のチェックを行う。ステップS22では、ラベルプリンタ32から送信されてくるステータス情報を受信する。

【0041】ステップS23では、受信したラベルプリンタのステータス情報により使用可能な状態であるかを判断する。ステータス情報により、ラベルプリンタ32が電源オフ、他のジョブによる使用中、ジャムや用紙切れなどの使用不能である場合には、ステップS24に移行する。ステップS24では、ラベルプリンタ32のステータス情報を監視するモードに入る。ステップS25では、所定の時間が経過したかを判断する。使用不能の状態が所定時間継続しているような場合には、ステップS26に移行する。ステップS26では、タイムアウトの番号をJ A V A アプレット側に送信する。これに基づいて、J A V A アプレットでは、プリンタ使用不可である旨の表示を発注先端末31の画面に表示してこの処理を終了する。

【0042】ステップS23において、受信したラベルプリンタのステータス情報が正常であると判断した場合には、ステップS27に移行する。ステップS27では、J A V A アプレットによりサーバ11から受け取ったラベル情報をラベルプリンタ32に出力する。ラベルプリンタ32では、ドライバソフトから出力されるラベル情報に基づいて、セットされた用紙にラベル印刷を行う。

【0043】ステップS28では、ラベルプリンタ32から送信されてくるステータス情報を取得する。このステータス情報は、ラベルプリンタ32が正常にラベル印刷を終了したか否かを示すものであって、用紙ジャムの発生、用紙切れ、トナーもしくはインク切れなどによって印刷が完了しなかった場合に、その旨の情報が送信されてくる。

【0044】ステップS29では、ステップS28で取得したステータス情報が、正常に印刷を終了したことを示すものであるかを判断する。ラベルプリンタ32のステータス情報が、用紙ジャムの発生、用紙切れ、トナーもしくはインク切れなどによって印刷が完了しなかったことを示すものである場合には、ステップS30に

移行する。ステップS30では、ラベルプリンタ32からのステータス情報に基づいて、対応するエラー情報をJ A V A アプレットに返す。J A V A アプレットは、このエラー情報に基づいて印刷異常があった旨の表示を発注先端末31上に表示する。

【0045】ステップS29において、ラベル印刷が正常に終了したものと判断した場合には、ステップS31に移行する。ステップS31では、ラベル情報の出力が完了したか否かを判断する。印刷する必要があるラベル情報がないと判断した場合には、ステップS32に移行する。ステップS32では、印刷が正常に終了した旨の信号をJ A V A アプレット側に送信し、処理を終了する。また、ステップS31において印刷すべきラベル情報が他にないと判断した場合には、ステップS33に移行する。ステップS33では、次のデータをラベルプリンタ32に出力準備を行い、ステップS21に移行する。この後、上記の手順を繰り返してラベル情報の印刷を実行する。

【0046】（他の実施形態）発注元2から送信されてくるPOS情報を発注先3に送信し、発注先3側でPOS情報に基づいて納品を行うように構成することも可能である。この場合も、物流情報管理センタ1において、必要となるラベル情報を管理し、発注先端末31側にこのラベル情報を送信してラベル発行を行うように構成できる。

【0047】（発明の効果）本発明によれば、商品納入時に必要となるラベル情報を、発注先において遠く得ることができ、ラベルの在庫を抱えることがなく、ラベルを管理するためのコストを削減できる。また、発注元においては、異なる発注先であってもラベルの品質を均一にすることが可能となり、ラベルに関連するトラブルを避けることができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の概念構成図。

【図2】本発明の概略構成図。

【図3】サーバの基本動作を示すフローチャート。

【図4】利用者マスタファイルの概念説明図。

【図5】小売マスタファイルの概念説明図。

【図6】小売店舗マスタファイルの概念説明図。

【図7】小売センターマスタファイルの概念説明図。

【図8】小売取引先コードマスタファイルの概念説明図。

【図9】商品分類ファイルの概念説明図。

【図10】商品マスタファイルの概念説明図。

【図11】カラーマスタファイルの概念説明図。

【図12】サイズマスタファイルの概念説明図。

【図13】製造会社マスタファイルの概念説明図。

【図14】種別ファイルの概念説明図。

【図15】P D ラベルファイルの概念説明図。

【図16】 両札ファイルの概念説明図。

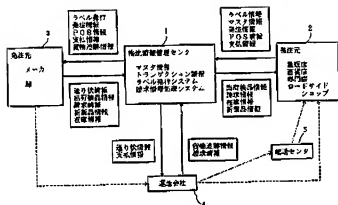
＊ト。

【図17】 送り状ファイルの概念説明図。

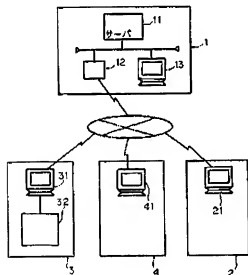
【図19】 JAVAアプレットを用いた場合のドライバソフトを中心とした動作を示すフローチャート。

【図18】 発注先端末における動作を示すフローチャート。

【図1】



【図2】



【図7】

小売センターマスタ

小売コード	
センターコード	
センター名	
センター固有コード	

【図4】

利用者マスタ

利用者コード	
利用者名	
住所	
電話番号	
担当課	
取引開始日	
パスワード	

【図8】

小売業向けコードマスタ

小売コード	
初発会コード	
取引先コード	
取引先名	
取引先固有情報	

【図5】

小売マスタ

小売コード	
名称	
使用種別範囲	
使用FIDラベル種類	
小売固有コード	住所
	電話番号

【図6】

小売店舗マスタ

小売コード	
店コード	
店名	
部門	
ディビジョン	
グループコード	
センターコード	
ブロックコード	
小売店情報固有コード	

【図9】

商品分類マスタ

小売コード	
部門コード	
ディビジョン	
商品コード	

【図10】

商品マスタ

小売コード	
商品コード	
JANコード	
取引先品番	
カラー	
カラー名	
サイズ	
サイズ名	
下代	
上代	

【図11】

カラーマスタ

小売コード	
カラーコード	
カラー名	

【図12】

サイズマスタ

小売コード	
サイズコード	
サイズ名	

【図13】

運送会社マスタ

運送会社コード	
名称	
使用荷札種類	
使用送り状種類	

【図14】

転付ファイル

転付者コード	
小売コード	
取引先コード	
部門	
クラス	
発注コード	
表示形式	
取引先名称	
メーカー	
サイズ	
納入年月	
カラー	
カラー名	
サイズ	
サイズ名	
数量	
.....	

【図15】

PDラベルファイル

納品者コード	
小売コード	
小売店コード	
納入先	
部門	
ディビジョン	
グループ	
商品分類	
取引先	
発注日	
納期	
.....	

【図17】

送り状ファイル

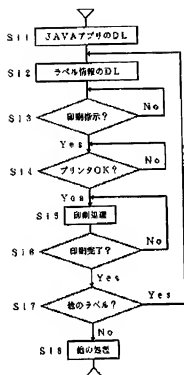
納品者コード		
荷受先	住所	
	名称	
	電話番号	
荷送先	住所	
	名称	
	電話番号	
組合せ番号		
元／着		
発注日		
配達日		
卸数		
数量		
重量		
備考		

【図16】

買付ファイル

納品者コード		
荷受先	住所	
	名称	
	電話番号	
荷送先	住所	
	名称	
	電話番号	
メーカー(組)		
品コード		
通達先		
振込		
元/着		
出荷日		
配達日		
組合せ番号		
個数		
備考		
配達日		

【図18】



【図19】

